

専攻実習Ⅱ

講師名	鈴木 哲	実務経験等	農業改良普及センター・農業研究センターでの普及指導員・研究専門員としての経験を活かし、県内で栽培されている主要果樹の栽培管理を通じて、果樹の栽培管理技術と果樹経営に必要な実践的能力を習得するための実習を行う。
-----	------	-------	--

科目区分	学科・経営科	必修・選択 (必修、自由)区分	履修 学年	開講 学期	標準 時間	単位数
専門・専攻科目	農産園芸・果樹	必修	2	通年	495	11
使用教科書・副教材	・「図解 最新 果樹のせん定 成らせながら樹形をつくる」農文協 編 ・「いわての農作物病害虫図鑑(Ⅱ)リンゴ・桑編」(社)岩手県植物防疫協会 ・岩手県果樹栽培指導要綱					
授業の目的	県内で栽培されている主要果樹の栽培管理を通じて、果樹の栽培管理技術と果樹経営に必要な実践的能力を養う。					
授業の到達目標	・樹種ごとに適切な栽培管理技術を修得し、良質な果実生産を行うことができる。 ・国際標準のGAP適用基準を理解し、実習作業時も実践することができる。					

月	学習項目	学 習 事 項	時間	授業 形式	備 考 (提出物等)
4月	果樹のせん定	ブドウ・ブルーベリーのせん定技術を習得する	40	実習	
	果樹の施肥	リンゴの施肥方法を学ぶ。			
	果樹苗木の繁殖技術	果樹の挿し木、接ぎ木技術を習得する。			
	ASIAGAP	果樹栽培におけるGAPの仕組みを学びながら演習を取り入れ、その取り組みについて理解する。			
5月	果樹の結実管理	花粉採取から人工受粉までの作業を学ぶ。 摘蕾、摘花、摘果の方法を学ぶ。	74	実習	
	施設の設置方法	雨よけの被覆方法を学ぶ。			
	ブドウの栽培技術	ブドウの芽かき、誘引技術を習得する。			
	病害虫防除	交信かく乱剤の設置等防除方法を習得する。			
6月	ASIAGAP	果樹栽培におけるGAPの仕組みを学びながら演習を取り入れ、その取り組みについてを理解する。	74	実習	
	果樹の結実管理	果樹の摘果技術を習得する。			
	ブドウの栽培技術	ブドウの花房整形、無核化処理を習得する。			
	アウトウの栽培技術	アウトウの着色管理と収穫調整を学ぶ。			
7月	ASIAGAP	果樹栽培におけるGAPの仕組みを学びながら演習を取り入れ、その取り組みについてを理解する。	24	実習	
	ブドウの栽培技術	ブドウの摘粒、袋かけの技術を習得する。			
	ブルーベリーの栽培技術	ブルーベリーの収穫・選果について習得する。			
	ナシの栽培技術	ナシの袋かけ・着果量の調整技術を学ぶ。			
8月	果樹の鳥獣害対策	防鳥網の設置、電気柵設置技術を習得する。	20	実習	
	ASIAGAP	果樹栽培におけるGAPの仕組みを学びながら演習を取り入れ、その取り組みについてを理解する。			
9月	果樹の収穫・調整	ブドウ、モモの収穫時期の判断・収穫、調整方法を習得する。	56	実習	
	リンゴの着色管理	早生品種の着色管理技術を習得する。			
10月	果樹の収穫・調整	ブドウ、リンゴ、ナシの収穫時期の判断・収穫、調整方法を習得する。	76	実習	
	リンゴの着色管理	中生品種の着色管理技術を習得する			
	ASIAGAP	果樹栽培におけるGAPの仕組みを学びながら演習を取り入れ、その取り組みについてを理解する。			
11月	果樹の収穫・調整	リンゴの収穫について習得する。	40	実習	
	果実・加工品の販売	農大祭等における対面販売方法を学ぶ。			
	ASIAGAP	ASIAGAPの審査に対応する。			
12月	果樹の収穫・調整	リンゴの収穫、調整技術を習得する。 西洋ナシの収穫期の判断、追熟を取得する。	38	実習	
	果実の販売向上対策	スーパー等実店舗での対面販売方法を学ぶ。			
1月	果樹の鳥獣害対策	野鼠、野兎対策技術を習得する。	50	実習	
	雪害対策	雪囲い等による雪害対策技術を習得する。			
2月	農園等の整理	園地や選果施設内の整理整頓について学ぶ。	4	実習	
	果樹の剪定	リンゴ、ナシのせん定について学ぶ。			
		アウトウ、モモの剪定について学ぶ	合計	496	時間

成績評価の方式(評価項目、評価の観点、割合等)

技術の習熟度、実技テストの得点、学習態度、出席状況等により評価する。
 評価割合: 習熟度 60%、平常点 40%(学習態度、出席状況等)

履修に当たっての留意点等

ほ場の実習が主体となるため、作業着・長靴等作業に適した服装で講義に望むこと。
 生育状況等で実施時期がずれることがある。また、天候によって日程変更することもあるので注意すること。